

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書
(別添資料)

平成 22 年 6 月
北海道教育大学

目 次

資料 1	平成 16-21 年度 課程別就職率	1
資料 2	平成 21 年度学生の就職支援活動の充実を図る事業一覧	1
資料 3	平成 16-21 年度 学術研究推進経費（学長裁量経費）採択件数一覧	1
資料 4	平成 21 年度 教員免許状更新講習参加者数一覧	1
資料 5	平成 20 年度 社会貢献に係る自己点検評価シート	2
資料 6	平成 19 年度に実施した学生支援等に係る外部評価を受けての改善状況	24

資料1 「大学再編前と平成20-21年度の就職率の推移」(キャリアセンター調べ)

課程別就職率(%)	平成16年度	平成17年度	平成20年度	平成21年度
教員養成課程の教員志望者の就職率	83.8	89.1	94	89.5
人間地域科学課程・芸術課程・スポーツ教育課程の民間・公務員志望者の就職率	79.3	73.6	85	87.3

※平成16、17、20年度については、大学再編前の課程の卒業生。

資料2 「平成21年度学生の就職支援活動の充実を図る事業一覧」(キャリアセンター室調べ)

事業名	内容
全学向け就職支援セミナー 学内合同企業説明会 「企業研究会」 「企業説明会」	TV会議システムを通して14回開催し、参加者は延べ1872名 無料シャトルバスによる各校からの参加者数は276、参加企業・官公庁数は65 参加企業26社 参加企業14社

資料3 「平成16-21年度 学術研究推進経費(学長裁量経費)採択件数一覧」(企画課調べ)

共同研究推進経費	67件
若手教員研究支援経費	65件
研究推進重点設備費	16件
個人研究支援経費	39件
附属学校(園)研究支援経費	4件

資料4 「平成21年度 教員免許状更新講習参加者数一覧」(総務課調べ)

会場	参加者数	会場	参加者数
札幌校	1,444	小樽商科大	87
函館校	573	室蘭工業大	93
旭川校	874	北見工業大	152
釧路校	657	稚内北星大	97
岩見沢校	73	帯広畜産大	441
		中標津	111
		計	4,602

資料5 「平成20年度 社会貢献に係る自己点検評価シート」 (外部評価報告書 P54-75)

平成20年度 社会貢献に係る自己点検評価シート

【評価基準2】

社会貢献（地域連携）の実施状況が適切で、社会に貢献しているとみなせること。

【観点2-①】

社会貢献事業が、実施の趣旨に即して適切に実施され、社会に貢献したものであるか。

観点に係る状況

評価基準1で述べたとおり、本学は法人化以前より公開講座・科目等履修制度等の社会貢献活動に取り組んできたが、法人化後には中期目標・中期計画に沿って、社会貢献（地域連携）事業を組織的に展開し、公開講座はもとより、セミナー、シンポジウム、講演会および研修等の各種事業を実施してきた。

1 本学の社会貢献（地域連携）事業

1) 公開講座

公開講座の趣旨・目的

公開講座の趣旨・目的は下記のとおりである（資料2- -1）。

資料2- -1 公開講座の目的（「公開講座のミッションと運営について（検討資料）」（平成21年3月24日）より）

公開講座は本学のもつ高度な、かつ、専門的な教育研究機能を広く社会に開放し、人々に生涯にわたる学習の機会を提供することによって本学を広報し、また地域とのコミュニケーションを促進することを目的とする。

なお、本学では以下の5種の公開講座を設けている。

- (1)一般公開講座：各種の公開教室および公開講演等の公開講座
 - (2)授業公開講座：本学が実施する授業の一部または全部を公開する公開講座
 - (3)高大連携公開講座：高等学校の生徒に対して、本学が実施する授業の一部または全部を公開する公開講座
 - (4)現職教員等公開講座：現職教員、教育委員会の指導主事および社会教育主事等教育に携わることを仕事としている者を対象に実施する公開講座
 - (5)免許法認定講習：教育職員免許法施行規則（昭和29年文部省令第26号）第43条の2に基づき、現職教員等に、公開講座の課程によって、上級免許資格のための単位を与える場合等の公開講座
- 公開講座の実施状況

平成18年度から20年度に本学が開講した公開講座は、以下のとおりである（資料2- -2、3及び4）。

資料2- -2 平成18年度に実施した公開講座

(1)一般公開講座

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
文学に見られる身近な動物－ネコ－【札幌校】	市民一般	18.7.29,18.8.12 18.8.19	時間 7.5	30	23
童謡をうたおうⅠ【函館校】	市民一般	18.5.6～18.7.8 の毎週土曜日	10	15	15
童謡をうたおうⅡ【函館校】	市民一般	18.8.19～18.10.21 の毎週土曜日	10	15	10
吹奏楽指導法講座2006【釧路校】	市民一般 (吹奏楽愛好者)	18.10.3～18.11.7 の毎週火曜日	15	10	9

岩教大サッカーカレッジ 北海道教育大学学長杯中学1年リーグ【岩見沢校】	中学1年生	18.5~18.9	18	40	54
ぜったいわかる！マイコンシステム【札幌校】	市民一般 (高校生以上)	18.11.27~30	8	20	20
ピアノの演奏法について【岩見沢校】	ピアノに興味のある一般の方,ピアノ指導者,大学生,高校生,その他	18.10.7,18.11.4 18.12.16	8	30	44
環境教育~道東からの発信~【釧路校】	市民一般, 現職教員	18.10.21,18.11.18 18.12.2,18.12.9 18.12.16	10	20	11

(2)授業公開講座

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
北海道スタディズ(函館B1)【函館校】	市民一般	18.4.11~18.7.18 の毎週火曜日	時間 21	10	4
博物館経営論【函館校】	市民一般	18.4.13~18.8.1 の毎週木曜日	22.5	10	3
西欧政治思想史I【函館校】	市民一般	18.4.12~18.7.19 の毎週水曜日	21	20	10
生涯教育概論【旭川校】	市民一般(前年度受講者は不可)	18.4.17~18.5.22 の毎週月曜日	9	5	3
日本文学史(古典)【旭川校】	市民一般	18.4.19~18.7.26 の毎週水曜日	21	5	5
日本文学講読Ⅲ(近代)【旭川校】	市民一般	18.4.13~18.7.27 の毎週木曜日	21	5	5
日本書道史【旭川校】	市民一般	18.4.19~18.7.26 の毎週水曜日	21	10	9
へき地教育論【釧路校】	市民一般	18.4.11~18.6.20 の毎週火曜日	16.5	5	
哲学概論【岩見沢校】	市民一般	18.4.10~18.7.24 の毎週月曜日	21	5	3
現代ジェンダー論【札幌校】	市民一般	18.10.4~19.1.31 の毎週水曜日	22.5	5	1
特別支援教育I・障害児教育【札幌校】	市民一般	18.10.4~19.1.31 の毎週木曜日	22.5	10	
漢文学講読I 杜甫の生涯と晩年の詩【札幌校】	市民一般	18.10.3~19.1.16 の毎週火曜日	21	10	1
日本語技能IV【札幌校】	市民一般	18.10.4~19.1.31 の毎週水曜日	22.5	2	1
国際金融論【札幌校】	市民一般	18.10.4~19.1.24 の毎週水曜日	21	5	
国際経済【札幌校】	市民一般	18.10.5~19.1.25 の毎週木曜日	21	5	
イギリスの詩と音楽(後編)【札幌校】	市民一般	18.10.5~19.1.25 の毎週木曜日	21	5	2
栽培原論【札幌校】	市民一般	18.10.13~19.2.2 の毎週金曜日	22.5	3	2
食品貯蔵加工【札幌校】	市民一般	18.10.13~19.2.2 の毎週金曜日	21	3	3
食品材料学【札幌校】	市民一般	18.10.4~19.1.31 の毎週水曜日	22.5	3	1
精神保健1【札幌校】	市民一般	18.10.4~19.1.24 の毎週水曜日	21	5	1
栄養学Ⅱ【札幌校】	市民一般	18.10.4~19.1.31 の毎週水曜日	22.5	10	1
病理学(病気のしくみⅡ)【札幌校】	市民一般	18.10.3~19.1.23 の毎週火曜日	22.5	2	1
北海道スタディズ(函館B2)【函館校】	市民一般	18.10.3~19.1.16 の毎週火曜日	21	10	2
公的扶助論【函館校】	市民一般	18.10.3~19.1.23 の毎週火曜日	22.5	10	1

コミュニティ計画論【旭川校】	市民一般	18.10.12,18.10.18 18.10.25	15	5	1
日本の伝統音楽【旭川校】	市民一般	18.10.5~19.2.1 の毎週木曜日	22.5	5	1
コミュニティ計画特講2【旭川校】	市民一般	18.10.5~19.2.1 の毎週木曜日	22.5	5	1
日本文学特講4（近代）【旭川校】	市民一般	18.10.5~19.2.8 の毎週木曜日	22.5	5	9
哲学入門【岩見沢校】	市民一般	18.10.2~19.1.22 の毎週月曜日	19.5	10	5
生涯学習論【函館校, 岩見沢校】	市民一般	18.10.16~18.12.18 の毎週月曜日	15	10	6

(3) 高大連携公開講座

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
環境生物学実習Ⅱ 【札幌校】	北海道上川高等学校生徒	18.8.7~18.8.10	時間 28	4	2
野外実習Ⅱ 【旭川校】	北海道上川高等学校生徒	18.8.2~18.8.4	30	3	

(4) 免許法認定講習

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
養護概説特論Ⅱ	養護教諭1種免許状所有者	18.8.1~18.8.4	時間 30	30	24
健康科学特論Ⅲ	現職養護教諭又は養護教諭1種免許状所有者	18.8.7~18.8.10	30	30	26

資料2- -3 平成19年度に実施した公開講座

(1) 一般公開講座

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
文学・ことわざにみる身近な動物たちー鳥の話題を中心としてー 【札幌校】	市民一般	19.8.11,19.8.18 19.8.25	時間 7.5	30	人 14
石狩川流域を探るー地域文化の再発見ー【札幌校】	市民一般	19.8.9,19.8.10	8.8	30	29
童謡を歌おうⅠ 【函館校】	市民一般	19.5.12~19.7.14 の毎週土曜日	10	12	4
童謡を歌おうⅡ 【函館校】	市民一般	19.8.18~19.10.20 の毎週土曜日	10	12	7
親子で楽しむ「おながくひろば」【 函館校】	2, 3歳児を持つ親	19.5.12~19.7.21 の隔週土曜日	6	10	10
津軽海峡をめぐる近代土木遺産と まちづくりー旧戸井線・大間線の歴史と めがね橋 【生涯学習教育研究センター】	市民一般（中学生以上）	19.11.17,19.11.18	7.5	30	14
これならわかる！マイコンシステム 【札幌校】	高校生～一般	19.11.13~19.11.16	9	20	15
心について考える 【札幌校】	市民一般	19.10.13~19.11.17	10	100	42
廃棄物問題を考えるー大量廃棄社会から 循環型社会へー【函館校】	市民一般	19.5.12~19.7.21 の隔週土曜日	6	25	3
健康づくりでまちづくり 【釧路校】	市民一般	19.10.19~19.11.18	7	60	31
ふまねっとサポーター講習（上級） 【釧路校】	市民一般	19.11.19~19.11.23	6	20	68
北教大岩見沢校サッカーカレッジ 北海道教育大学学長杯中学1年リーグ 【岩見沢校】	中学1年生	19.5.28~19.7.23 の隔週月曜日	12.5	60	35

(2)授業公開講座

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
表象文化論A 【札幌校】	市民一般	19.4.17～19.7.17 の毎週火曜日	時間 21	3	
国際理解教育論 【札幌校】	市民一般	19.4.16～19.7.30 の毎週月曜日	21	5	1
地球と生物 【札幌校】	市民一般（高校で生物 に関わる科目を履修し ていることが望ましい 。）	19.4.11～19.7.4 の毎週水曜日	19.5	3	3
学校保健Ⅰ 【札幌校】	市民一般	19.4.19～19.7.19 の毎週木曜日	19.5	2	
学校看護学Ⅰ 【札幌校】	市民一般	19.4.11～19.7.4 の毎週水曜日	19.5	3	
精神保健Ⅱ 【札幌校】	市民一般	19.4.16～19.7.30 の毎週月曜日	22.5	5	3
情報機器の操作 【札幌校】	市民一般	19.4.24～19.7.17 の毎週火曜日	19.5	2	2
英語教育学概論 【札幌校】	市民一般（英語教育に 興味を持ち、専門的な 文献を英語で読むこと ができるもの。 できれば、英語を教え た経験のある方が望ま しい。）	19.4.12～19.6.21 の毎週木曜日	15	2	2
環境生物学【札幌校】	市民一般	19.4.11～19.7.11 の毎週水曜日	21	3	
政治学特講Ⅱ【札幌校】	市民一般	19.10.2～20.1.22 の毎週火曜日	22.5	3	2
英米文学概論ⅠB【札幌校】	市民一般	19.10.1～20.1.29 の毎週月曜日	22.5	3	
漢文学講読Ⅱ【札幌校】	市民一般	19.10.2～20.1.22 の毎週火曜日	22.5	5	6
地誌学【札幌校】	市民一般	19.10.4～19.11.22 の毎週木曜日	12	12	1
哲学概論【札幌校】	市民一般	19.10.1～20.1.29 の毎週月曜日	22.5	1	
表象文化論【札幌校】	市民一般	19.10.16～20.1.15 の毎週火曜日	18	5	4
国語学概論Ⅱ【札幌校】	市民一般	19.10.2～19.12.11 の毎週火曜日	16.5	2	1
環境生物学【札幌校】	市民一般	19.8.20～20.1.16 の毎週水曜日	21	3	3
聴覚障害教育 【札幌校】	市民一般	19.10.15～20.1.28	19.5	3	
教育の臨床と哲学に関する研究 【札幌校】	市民一般	19.10.2～20.2.22 の毎週火曜日	22.5	2	1
教育統計【札幌校】	市民一般	19.10.1～21.1.29 の毎週月曜日	21	10	
消費者のための衣生活学【札幌校】	市民一般	19.10.3～20.1.16 の毎週水曜日	19.5	5	
食品貯蔵加工【札幌校】	市民一般	19.10.5～20.1.25 の毎週金曜日	21	3	2
東アジア近現代史 【函館校】	市民一般	19.4.12～19.7.19 の毎週木曜日	21	10	8
医療福祉論 【函館校】	市民一般	19.4.11～19.7.11 の毎週水曜日	21	10	8
障害者福祉論Ⅰ 【函館校】	市民一般	19.4.17～19.7.17 の毎週火曜日	21	10	7
人間の心理とトリック・ニセ科学 と超能力、詐欺やオカルティズム 【函館校】	市民一般	19.4.16～19.7.30 の毎週月曜日	22.5	5	5

文化地理学【函館校】	市民一般	19.10.5~20.1.25 の毎週金曜日	21	5	10
日本歴史文化論【函館校】	市民一般	19.10.4~20.1.17 の毎週木曜日	21	10	2
公的扶助論【函館校】	市民一般	19.10.2~20.1.15 の毎週火曜日	21	10	6
障害者福祉論Ⅱ【函館校】	市民一般	19.10.3~20.1.23 の毎週水曜日	22.5	10	11
福祉臨床特別講義【函館校】	市民一般	19.10.3~20.1.23 の毎週水曜日	22.5	10	14
近代文学講読Ⅰ【旭川校】	市民一般	19.4.19~19.7.12 の毎週木曜日	18	5	6
日本文学史（古典） 【旭川校】	市民一般	19.4.11~19.7.18 の毎週水曜日	22.5	5	4
草書法Ⅰ 【旭川校】	市民一般	19.4.24~19.7.31 の毎週火曜日	21	7	10
社会学演習Ⅰ 【旭川校】	市民一般	19.4.16~19.7.30 の毎週月曜日	22.5	3	3
自然地理学 【旭川校】	市民一般	19.4.11~19.7.11 の毎週水曜日	21	3	2
化学概論Ⅰ 【旭川校】	市民一般（高校程度の 微分・積分の知識を持 っていることが望まし い。）	19.4.16~19.7.30 の毎週月曜日	22.5	5	
有機化学【旭川校】	市民一般	19.4.5~19.7.19 の毎週木曜日	22.5	5	4
音楽史Ⅰ 【旭川校】	市民一般	19.4.11~19.7.11 の毎週水曜日	21	10	
社会学概論【旭川校】	市民一般	19.10.1~20.1.29 の毎週月曜日	22.5	10	7
社会学演習Ⅱ 【旭川校】	市民一般	19.10.1~20.1.29	22.5	3	5
外国地誌【旭川校】	市民一般	19.10.3~20.1.16 の毎週水曜日	21	5	9
音楽史Ⅱ【旭川校】	市民一般	19.10.3~20.1.16 の毎週水曜日	21	3	
生活情報論【旭川校】	市民一般	19.10.2~20.1.22 の毎週火曜日	22.5	10	4
家庭科教育と環境【旭川校】	市民一般	19.11.20~20.1.22 の毎週火曜日	12	10	5
情報機器論【旭川校】	市民一般	19.10.1~20.1.28 の毎週月曜日	21	10	1
体育方法学【旭川校】	市民一般	19.10.3~19.12.5 の毎週水曜日	15	5	1
日本史概説 【釧路校】	市民一般	19.4.12~19.7.19 の毎週木曜日	21	10	4
地域社会と環境【釧路校】	市民一般	19.10.4~20.1.17 の毎週木曜日	21	10	
環境リテラシー【釧路校】	市民一般	19.10.4~20.1.24 の毎週木曜日	22.5	10	
環境と産業技術【釧路校】	市民一般	19.10.4~20.1.17 の毎週木曜日	21	10	
地域の自然環境【釧路校】	市民一般	19.10.4~20.1.24 の毎週木曜日	22.5	10	2
地域文化と触れ合う【釧路校】	市民一般	19.10.4~20.1.24 の毎週木曜日	22.5	10	
地域と情報ネットワーク【釧路校】	市民一般	19.10.1~20.1.29 の毎週月曜日	22.5	10	
北海道スタディズ【釧路校】	市民一般	19.10.1~20.1.21 の毎週月曜日	21	10	2
特別支援教育【釧路校】	市民一般	19.10.2~20.1.15 の毎週火曜日	21	10	4

学校経営と学級経営【釧路校】	市民一般	19.10.3～20.1.23 の毎週水曜日	22.5	2	
ジェンダー論【岩見沢校】	市民一般	19.10.3～20.1.16 の毎週水曜日	21	5	3
倫理学概論 【岩見沢校】	市民一般	19.4.17～19.7.17 の毎週火曜日	21	15	7
生涯学習論【岩見沢校】	市民一般	19.10.22～19.12.17 の毎週月曜日	13.5	10	2

(3) 高大連携公開講座

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
環境生物学実習Ⅱ 【札幌校】	北海道上川高等学校生徒	19.8.6～19.8.9	時間 32	4	2

(4) 現職教員等公開講座

教育・福祉のコミュニケーションスキルとしてのマジック【函館校】	教育・保育・介護・福祉関係者	19.5.12,19.5.19	時間 8	5	3
---------------------------------	----------------	-----------------	---------	---	---

資料2- -4 平成20年度に実施した公開講座

(1) 一般公開講座

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
文学にみられる身近な動物－ネズミー【札幌校】	市民一般	20.8.9,20.8.16 20.8.23,20.8.30	時間 10	30	16
誰でもわかる！C言語（win32編）【札幌校】	高校生以上、一般の方	20.6.23～20.6.27	10	25	17
数学に楽しむ【札幌校】	中学生以上	20.5.17,20.5.24 20.5.31,20.6.7 20.6.14	7.5	20	12
「物理」が明らかにしてきたこと－分子、力、太陽系【札幌校】	市民一般	20.8.3,20.8.10 20.8.17	9	20	12
社会人のコミュニケーションツールとしてのマジック講座【函館校】	18歳以上の勤労者もしくは退職者	20.5.9,20.5.16 20.5.23	6	5	4
ふまねっと健康教室【釧路校】	市民一般	20.4.25～20.7.25 の毎週金曜日	10.5	50	27
ピアノ演奏を考える－ショパンの音楽に見られる古典性－【岩見沢校】	中学生以上、一般、音楽指導者	20.9.15,20.11.1	8	60	32
健康管理入門【保健管理センター】	市民一般	20.10.3～20.10.20 の毎週土曜日	6	20	5
ふまねっと健康教室【釧路校】	市民一般	20.10.24,20.11.14 20.11.28,20.12.12 20.12.19,21.1.9 21.1.23	10.5	20	17

(2) 授業公開講座

講座名	受講対象者	開設期間	時間数	募集人員	参加人員
倫理学概論Ⅱ【札幌校】	市民一般	20.4.10～20.7.17 の毎週木曜日	時間 22.5	15	2
表象文化論A【札幌校】	市民一般	20.4.15～20.7.22 の毎週火曜日	19.5	3	
解析学Ⅱ【札幌校】	市民一般(集合と写像についての知識を有すること)	20.4.10～20.7.10 の毎週木曜日	21	3	
情報機器の操作【札幌校】	市民一般	20.4.22～20.7.15 の毎週火曜日	16.5	2	1
英語教育学概論【札幌校】	市民一般(英語の専門書を読むのが苦にならない方)	20.4.15～20.7.1 の毎週火曜日	15	3	1
国際理解教育論【札幌校】	市民一般	20.4.14～20.6.23 の毎週月曜日	15	5	1

病理学Ⅰ 【札幌校】	市民一般(看護師免許を有する者以外)	20.4.15～20.5.13 の毎週火曜日	4.5	3	1
幾何学Ⅲ 【札幌校】	市民一般(線形代数と微分積分の基礎的知識を前提とした講義)	20.4.14～20.6.23 の毎週月曜日	15	3	
教職論 【札幌校】	市民一般	20.4.25～20.5.9 20.5.23～20.6.6 の金曜日	6	5	2
子ども・地域と防災(防犯)教育 【札幌校】	市民一般	20.4.15～20.7.22 の毎週火曜日	19.5	5	2
政治学概論 【札幌校】	市民一般	20.4.15～20.7.29 の毎週火曜日	21	5	3
国際政治 【札幌校】	市民一般	20.4.14～20.7.28 の毎週月曜日	21	5	6
グローバル社会論 【札幌校】	市民一般	20.4.16～20.7.23 の毎週水曜日	22.5	5	3
特別支援教育基礎論 【札幌校】	市民一般	20.4.10～20.7.17 の毎週木曜日	22.5	10	2
学校看護学Ⅰ 【札幌校】	市民一般	20.4.16～20.7.23 の毎週水曜日	22.5	2	1
環境地誌学 【札幌校】	市民一般	不定期	22.5	5	1
表象文化論B【札幌校】	市民一般	20.10.14～21.2.3 の毎週火曜日	21	5	1
社会科教育概論【札幌校】	市民一般	不定期	22.5	5	
食品の貯蔵と加工【札幌校】	市民一般	20.10.10～21.1.6 の毎週金曜日	21	3	2
生徒理解と生徒指導【札幌校】	市民一般	20.10.12～21.1.22 の毎週木曜日	22.5	3	
聴覚障害教育【札幌校】	市民一般	20.10.9～21.1.22 の毎週月曜日	19.5	5	
集合と論理【札幌校】	市民一般	20.10.7～21.1.20 の毎週火曜日	21	2	1
漢文講読Ⅰ－陶淵明の生涯と詩 【札幌校】	市民一般	20.10.7～21.1.27 の毎週火曜日	22.5	10	3
環境生物学【札幌校】	市民一般	20.10.1～21.1.7 の毎週水曜日	21	3	1
国語学概論【札幌校】	市民一般	20.10.7～20.12.16 の毎週火曜日	21	2	1
地理学概論 【札幌校】	市民一般	不定期	22.5	5	1
消費者のための衣生活科学 【札幌校】	市民一般	20.10.1～21.1.14 の毎週月曜日	22.5	5	1
教育統計【札幌校】	市民一般	20.10.6～21.2.9 の毎週月曜日	21	10	
発達と学習B【札幌校】	市民一般	20.10.2～21.1.29 の毎週木曜日	21	5	1
英語学概論Ⅰ【札幌校】	市民一般	20.10.1～21.1.14 の毎週水曜日	22.5	5	
英米文学概論Ⅰ【札幌校】	市民一般	20.10.6～21.2.16 の毎週水曜日	22.5	3	1

西洋社会思想史 【函館校】	市民一般	20.4.23～20.6.18 の毎週水曜日	13.5	10	7
東アジア近現代史 【函館校】	市民一般	20.4.15～20.7.22 の毎週火曜日	19.5	10	9
比較演劇 【函館校】	市民一般	20.4.10～20.7.17 の毎週木曜日	22.5	5	4
異文化入門【函館校】	市民一般	20.10.6～21.2.16 の毎週月曜日	22.5	5	3
現代の歴史象と東アジア世界 【函館校】	市民一般	20.10.7～21.1.27 の毎週火曜日	22.5	10	4
生活と安全【函館校】	市民一般	20.10.7～21.1.13 の毎週火曜日	19.5	10	4
アラブ・イスラムの文化・社会研究 【函館校】	市民一般	20.10.7～21.1.27 の毎週火曜日	21	10	5
生と死の日本思想【函館校】	市民一般	20.10.8～21.1.14 の毎週水曜日	21	20	8
物理学2【函館校】	市民一般	20.10.8～20.12.10 の毎週水曜日	15	1	
計算機シミュレーション1A 【函館校】	市民一般	20.10.8～20.10.10 の毎週水曜日	15	1	
映像文化論【函館校】	市民一般	20.10.9～21.1.22 の毎週水曜日	22.5	5	4
子どもの人権【函館校】	市民一般	20.10.6～20.12.15 の毎週月曜日	12	10	5
地域計画論【函館校】	市民一般	20.10.6～21.2.6 の毎週月曜日	21	10	5
プレゼンテーションI（連句） 【函館校】	市民一般	20.10.6～21.2.16 の毎週月曜日	22.5	10	1
生物化学【函館校】	市民一般	20.10.6～21.2.16 の毎週月曜日	22.5	5	2
言語学概論【函館校】	市民一般	20.10.6～21.2.16 の毎週月曜日	22.5	10	2
言語情報分析【函館校】	市民一般	20.10.7～21.1.27 の毎週火曜日	22.5	5	1
資源とエネルギー【函館校】	市民一般	20.10.8～21.1.21 の毎週水曜日	22.5	5	2
福祉臨床特別講義 【函館校】	市民一般	20.10.8～21.1.21	22.5	20	2
近代文学講読I（北村透谷の作品を 読む）【旭川校】	市民一般	20.4.10～20.7.17 の毎週木曜日	22.5	10	5
日本文学史（古典） 【旭川校】	市民一般	20.4.16～20.7.23 の毎週水曜日	22.5	5	3
中国書道史 【旭川校】	市民一般	20.4.16～20.7.23 の毎週水曜日	22.5	12	8
地理学概論 【旭川校】	市民一般	20.4.16～20.7.23 の毎週水曜日	22.5	5	3
自然地理学 【旭川校】	市民一般	20.4.16～20.7.16 の毎週水曜日	21	6	2
社会学演習Ⅲ 【旭川校】	市民一般	20.4.14～20.7.28 の毎週月曜日	21	3	2
社会調査論 【旭川校】	市民一般	20.4.14～20.7.28 の毎週月曜日	21	10	2

総合演習 【旭川校】	市民一般	不定期	22.5	3	
音楽史 I 【旭川校】	市民一般	20.4.16~20.7.23 の毎週水曜日	22.5	10	
運動学 【旭川校】	市民一般	20.4.16~20.6.18 の毎週水曜日	15	5	1
情報サービス概論 【旭川校】	市民一般	20.4.14~20.7.28 の毎週月曜日	21	10	
コミュニケーション論 【旭川校】	市民一般	集中	22.5	10	1
哲学概論【旭川校】	市民一般	20.10.8~21.1.21 の毎週水曜日	22.5	5	5
外国地誌【旭川校】	市民一般	20.10.8~21.1.21 の毎週水曜日	22.5	7	1
近代文学講読2【旭川校】	市民一般	20.10.2~21.2.12 の毎週木曜日	22.5	5	6
音楽教育演習IV【旭川校】	市民一般	20.10.2~21.1.22 の毎週木曜日	22.5	10	1
体育方法学【旭川校】	市民一般	20.10.8~20.12.10 の毎週木曜日	15	5	1
人文科学入門 【釧路校】	市民一般	20.4.14~20.7.28 の毎週月曜日	22.5	10	3
環境教育活動 I A 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	20.4.10~20.7.17 の毎週木曜日	22.5	若干名	
環境教育活動 III C 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者	不定期	22.5	3	1
環境教育と産業トライアル 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	20.4.10~20.7.17 の毎週木曜日	22.5	5	
アドベンチャー教育 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	不定期	22.5	5	
環境教育活動 III A 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	不定期	22.5	3	
地域健康教育コーディネート演習 I【釧路校】	市民一般	20.4.11~20.7.18 の毎週金曜日	22.5	10	10
地域社会と環境演習 I 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	不定期	22.5	10名以内	
釧路湿原エコウォッチング 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	20.4.10~20.7.17 の毎週木曜日	22.5	3	3
環境教育プランニング演習 I B 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	20.4.16~20.7.23 の毎週水曜日	22.5	3	
子どもと環境教育 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	20.4.10~20.7.17 の毎週木曜日	22.5	10	
工業と環境教育演習 I 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	20.4.16~20.7.23 の毎週水曜日	22.5	5	
環境教育活動 III F 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	20.4.14~20.8.4 の毎週月曜日	22.5	3	
地域ボランティア 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	不定期	22.5	5	
地域教育活動 I 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	不定期	22.5	5	
東北北海道アウトドアトライアル 【釧路校】	ESD プランナー資格取 得希望者に限定	不定期	22.5	5	

アドベンチャー教育演習 I 【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者に限定	不定期	22.5	5	
国語科教育学講読 【釧路校】	市民一般	20.4.10～20.7.17 の毎週木曜日	22.5	5	1
地域ボランティア 【釧路校】	市民一般	集中	22.5	5	
環境と産業技術【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者に限定	20.10.2～21.1.22 の毎週木曜日	22.5	5	
環境教育プランニング演習 I B 【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者に限定	20.10.1～21.1.21 の毎週水曜日	22.5	3	
子どもと環境教育【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者	20.10.9～21.1.22 の毎週木曜日	22.5	10	
地域社会と環境【釧路校】	ESDプランナー資格科目(必修)	集中	22.5	10名以内	
環境教育活動Ⅲ E【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者に限定	集中	22.5	5	
地域文化と触れ合う【釧路校】	市民一般	20.10.9～21.1.29 の毎週木曜日	22.5	若干名	
学校経営と学級経営【釧路校】	市民一般	20.10.9～21.1.29 の毎週木曜日	22.5	5	3
地域の自然環境【釧路校】	市民一般	20.10.9～21.1.22	22.5	5	
環境教育プランニング演習 I A 【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者に限定	集中	22.5	3	
環境教育活動Ⅱ【釧路校】	ESDプランナー資格取得者限定	集中	22.5	5	1
環境リテラシー A【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者限定	20.10.2～21.1.22 の毎週木曜日	22.5	10	
環境教育活動Ⅲ D【釧路校】	ESD希望ランナー資格取得者限定	集中	22.5	5	
環境教育活動Ⅲ C【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者限定	集中	22.5	3	
環境教育と農業演習 I【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者限定	集中	22.5	3	
地域教育活動Ⅱ【釧路校】	ESDプランナー資格取得科目	集中	22.5	10	
地域健康教育コーディネート 【釧路校】	ESDプランナー資格取得科目	集中	22.5	10	
環境教育活動Ⅲ B【釧路校】	ESDプランナー資格取得科目	集中	22.5	3	
地域の生態系演習 I【釧路校】	ESDプランナー資格取得希望者限定	20.10.6～21.2.9 の毎週月曜日	22.5	3	

◎公開講座のアンケート結果

公開講座のアンケート結果によれば(資料2- -5), おおむね良好との評価を得ており, 本学の公開講座の趣旨・目的に沿って社会に貢献したものと判断できる。

資料2- -5 公開講座のアンケート結果

授業公開講座(受講者からのアンケート調査(抜粋))

年度	開講数	受講者数	受講者アンケートからの検証
18年度	39	270	・とても楽しかった, 楽しかったという回答 86% ・受講した講座が有益だったとの回答 97%
19年度	74	464	調査せず。
20年度	113	312	・とても楽しかった, 楽しかったという回答 80% ・受講した講座が有益だったとの回答 92%



【公開講座ハンドブック 表紙画像】

2) フォーラム

フォーラムの実施状況

平成18年度から20年度に本学が実施したフォーラムは、以下のとおりである（資料2- -6, 7及び8）。

資料2- -6 平成18年度に実施したフォーラム

名 称	開催日	参加人数等	備 考
2006函館アカデミックフォーラム	18.11.18		主催：函館市、産学連携「クリエイティブネットワーク」、函館校ほか
「拓北・あいの里教育フォーラム2006」 「学校と地域の安全と安心」第8回	18.12.10	地域住民 学校関係者	共催：拓北・あいの里教育連携懇談会 後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会、社団法人北師教育文化振興会
北海道地域教育連携フォーラム「子どもを育てる地域ネットワークづくり」	19.1.26	教育委員会、 学生、学校教職員 等約90名	北海道地域教育連携推進協議会 共催：北海道教育委員会、札幌市教育委員会
「学生ボランティア事業」連絡協議会	19.2.19	関係者25名	札幌市教育委員会との連携

資料2- -7 平成19年度に実施したフォーラム

名 称	開催日	参加人数等	備 考
2007函館アカデミックフォーラム	19.11.17		主催：函館市、産学連携「クリエイティブネットワーク」、函館校ほか

特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）フォーラム「へき地教育と教師教育」	19.12.1	大学教職員，へき地校関係者，学生等70名	文部科学省の特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）「へき地・小規模校教育実践プログラムの開発ー地域と未来を開く教師教育ー」 後援：北海道へき地・複式教育研究連盟
三者食育連携協定締結記念「食と農をつなぐ教育フォーラム」	20.3.26	一般市民400名	JAグループ北海道，北海道フットボールクラブ

資料2- -8 平成20年度に実施したフォーラム

名 称	開催日	参加人数等	備 考
教員免許更新制フォーラム	20.5.26	国公立大学関係者約100名	
へき地教育フォーラムin十勝	20.11.7～ 20.11.8	学生，現職教員等170名	文部科学省特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）「へき地・小規模校教育実践プログラムの開発ー地域と未来を開く教師教育ー」 共催：十勝へき地・複式教育研究連盟
第2回教員免許更新制フォーラム	20.11.19	国公立大学関係者約60名	
北海道地域教育連携フォーラム・食と農をつなぐ教育フォーラム～スポーツと食事（子ども編）	21.1.11	児童，保護者約80名	北海道地域教育連携推進協議会 共催：JAグループ北海道，北海道フットボールクラブ
北海道地域教育連携フォーラム・食と農をつなぐ教育フォーラム～地域の宝は元気な子ども	21.3.1		北海道地域教育連携推進協議会

フォーラムのアンケート結果

フォーラムのアンケート結果は，例えばこれまで3回実施した，下の資料2- -9のとおりであるが，その結果によれば，いずれも満足度は80%台とおおむね良好との評価を得ており，社会に貢献したものと判断する。

資料2- -9 フォーラムのアンケート結果「食と農をつなぐ教育フォーラム」

JAグループ北海道，北海道フットボールクラブとの相互協力協定を生かし，現代的課題である食育，食農教育をテーマに多角的に考える事業。

（受講者からのアンケート調査（抜粋））

年度	募集人数	参加者数	満足度	主な意見等
19年度 (3/26開催)	650	400	85.6%	・さらに体験成果をアピールすべきである。 ・このようなフォーラムを色々なところで開催してほしい。 ・農作物，食育についてもっと取り組んでほしい。
20年度 (1/11， 3/1開催)	100 (1月) 300 (3月)	98 (1月) 234 (3月)	83.5%	・楽しんで参加することができた。 ・学生さんのエネルギーを感じた。 ・農業と食育の大切さを心に留めたい。 ・エネルギーを感じた。継続した取組となることを期待しています。 ・食，農に対しての考え方を広めてほしい。 ・子どもの体力と食との関わりが分かった。

この部分は著作権の関係で
掲載できません。

【食と農をつなぐ教育フォーラム報告書より】

3) シンポジウム

シンポジウムの実施状況

平成 18 年度から 20 年度に本学が実施したシンポジウムは、以下の資料、資料 2- -10, 11 及び 12 のとおりである。

資料2- -10 平成18年度に実施したシンポジウム			
名 称	開催日	参加人数等	備 考
「いじめ対策緊急プロジェクト in 旭川わたしたちはいじめとどうむきあうか」【旭川校】	19.3.10	市民, 学校関係者, 児童, 生徒, 大学生など約460名	いじめ対策緊急プロジェクト

資料2- -11 平成19年度に実施したシンポジウム			
名 称	開催日	参加人数等	備 考
教職大学院開設に向けたシンポジウム	19.5.12	小中高等学校の現職教員, 教育委員会関係者, 教職大学院を構想している道外の私大関係者など, 150名	後援: 北海道教育委員会, 札幌市教育委員会
北海道教育大学教職大学院「高度教職実践専攻」シンポジウム【釧路校】	19.7.7	釧路市内の小中高等学校の現職教員, 教育委員会関係者等, 72名	後援: 北海道教育庁釧路教育局, 釧路市教育委員会
教職大学院説明会・シンポジウム【旭川校】	19.12.1	上川管内の小中高等学校の現職教員, 教育委員会関係者等	後援: 北海道教育庁上川教育局, 旭川市教育委員会
シンポジウム「持続可能な社会への環境教育 (ESD) -地域から世界へ広がる環-」【釧路校】	20.2.16	教員, 学生, 釧路市議会議員, 地方公共団体職員, 公立学校教員, 一般市民等40名	平成19年度文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代GP) 採択事業「持続可能な社会実現への地域融合キャンパス」

資料2- -12 平成20年度に実施したシンポジウム			
名 称	開催日	参加人数等	備 考
国際シンポジウム「持続可能な未来をつくる環境教育～グローバルな視野と地域での実践～」【釧路校】	20.7.9	職員, 学生, 公立学校教員, NPO法人職員, 一般市民等約150名	平成19年度文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム (現代GP) 採択事業「持続可能な社会実現への地域融合キャンパス」
公開シンポジウム「北海道教育大学は学校・地域・家庭の教育力向上に貢献できるか」	20.11.9	現職教員, 一般市民90名超	

4) セミナー

セミナーの実施状況

平成 18 年度から 20 年度に本学が実施したセミナーは、以下の資料 2- -13, 14 および 15 のとおりである。

資料2- -13 平成18年度に実施したセミナー

名 称	開催日	参加人数等	備 考
「教師力セミナーin北海道」	18.5.20	約600名、教員約7割、道外7%	共催：読売新聞北海道支社
小学校教員研修セミナー「ここから始まる！雪の実践」【教育実践総合センター】	18.8.2～ 18.8.3	小学校教員等53名	共催：北海道雪プロジェクト（雪プロ）
公開授業「インターネット天文台による世界の星座観察」【教育実践総合センター】	18.9.26～ 18.9.28	小学校教諭、保護者45名	共催：附属札幌小学校、石狩小学校、緑丘小学校
～あなたも挑戦！教科で学ぶ雪・冬～ 第5回「雪の学習」研究会【教育実践総合センター、附属札幌小学校】	19.2.9	小学校教員、学生、保護者145名	北海道雪プロジェクト（雪プロ）

資料2- -14 平成19年度に実施したセミナー

名 称	開催日	参加人数等	備 考
雪プロセミナー「みんなで始めよう」雪の実践	19.7.27	教員62名	教育実践総合センター
第6回「雪の学習」研究会 学校カリキュラムに雪の学習を位置づける 【教育実践総合センター、附属札幌小学校】	20.1.30	小学校教員、学生、保護者	北海道雪プロジェクト（雪プロ）、市立星置東小学校

資料2- -15 平成20年度に実施したセミナー

名 称	開催日	参加人数等	備 考
国連大学グローバルセミナー第8回北海道セッション	20.8.17～ 20.8.20	学生、大学院生42名、一般市民130名	国連大学市民公開講座として、一般市民にも公開
北海道教育大学は応援します！第7回「雪の学習」研究会 新カリキュラムに『雪』を！！！！【教育実践総合センター、附属札幌小学校】	21.1.30	小学校教員、学生、保護者	北海道雪プロジェクト（雪プロ）、市立星置東小学校

セミナーのアンケート結果

セミナーのアンケート結果は、例えば「教師力セミナーin北海道」、「小学校教員研修セミナー「ここから始まる！雪の実践」」の2件（資料2- -16）のもので、その結果によれば、おおむね好意的な意見が多く、満足度の高いものとなっていると判断する。

資料2- -16 セミナーのアンケート結果

- (1) 「教師力セミナーin北海道」
 - ・公開授業の内容がすばらしく、これだけでも見に来る価値があった。
 - ・パネルディスカッションで、教師としての自覚と自信を持つことが教師力の向上につながるということが分かり有意義だった。
- (2) 小学校教員研修セミナー「ここから始まる！雪の実践」
 - ・雪たんけん館はすごい！と調べてみていましたが、活用方法が分からなかったのも、とても参考になりました。
 - ・私でも使えるんだ！ということを知り、周囲に伝えていくことで、教育現場が変わっていけば素晴らしいと思いました。
 - ・視覚に訴える授業がここまで分かりやすいのだということが分かりました。
 - ・ITの活用について、難しく考えていましたが、実はそうでもないことが分かりました。私でも使えるんだ！ということを知り、身のまわりに伝えていくことで、北海道の教育現場が変わっていけば素晴らしいと思いました。
 - ・初めはいつも参加している研修会と違い、テンションが高く皆さんの意識もとても高く感じられて尻ごみしてしまいましたが、大変ためになることばかりで、カルチャーショックを受けました。
- (3) 公開授業「インターネット天文台による世界の星座観察」
 - ・理科離れが言われていますが、子どもの興味を喚起する素材や方法の提供が重要であることを再認識。

5) 講演会

講演会の実施状況

平成18～20年度に本学が実施した主な講演会は、下の資料2- -17, 18及び19のとおりである。

資料2- -17 平成18年度に実施した講演会

名称	講演者	開催日	参加人数等	備考
優れた授業とは	陰山 英男 氏	18.5.20	600	教師力セミナーin 北海道
カリキュラムの中心となるもの	ロビン・パロー博士	18.10.21	100	教育に関する環太平洋国際会議
テクノロジーと包括教育	ハワード・パレット博士	18.10.21	100	教育に関する環太平洋国際会議
津波が変えた私の人生～地域とのかかわり	道下 俊一 氏	19.1.26	90	北海道地域教育連携フォーラム
小学校英語活動の在り方と今後の方向性	菅 正隆 氏	19.2.17	160	小学校英語活動地域サポート事業小学校英語活動実践成果発表交流会
いじめ 今、まわりの大人にできること	森田 洋司 氏	19.3.10	460	いじめ対策緊急プロジェクト in 旭川
「いじめ」問題とどう向き合うか	尾木 直樹 氏	19.3.28	300	いじめ対策緊急プロジェクト

資料2- -18 平成19年度に実施した講演会

名称	講演者	開催日	参加人数等	備考
がんばって、がんばって普通する子どもたち	庄井 良信 准教授	19.6.26	200	網走教育局いじめゼロほっとプロジェクト
今さら聞けない特別支援教育	二宮 信一 准教授	19.12.8	120	特別支援教育の教育学習会
あたらしい学カ-ヴァジュアル・リテラシーの育て方	鹿内 信善 教授	20.2.6	150	授業づくりネットワーク北海道2008in 帯広
ハラスメントのない学習環境をつくる	村瀬 幸浩 氏	20.2.8	120	双方向遠隔授業システムにより全学に配信
小学校外国語活動(英語活動)の最初の一步	梅本 龍多 氏	20.2.18	120	小学校英語プロジェクト・実践交流会
オリエント急行の車窓から見えるヨーロッパの気候と風土	佐々木巽 教授	20.2.19	200	地域貢献プロジェクト「ヨーロッパへの誘い」
北の大地で人が育つということ-フィンランドの教育改革から何を学ぶか	庄井 良信 准教授	20.3.17		どさんこ創生塾特別記念講演会
発達障害のある子の社会性を育てる～ソーシャルスキルをいかに教えるか～	二宮 信一 准教授	20.3.25	50	標茶ドングリの会
命-食と農に思うこと	立松 和平 氏	20.3.26	400	食と農をつなぐ教育フォーラム

資料2- -19 平成20年度に実施した講演会

名称	講演者	開催日	参加人数等	備考
我々が生きている時代とは-学生時代に身につけるべきこと	寺島 実郎 氏	20.4.2	2,000	平成20年度入学式記念講演
貧困と格差に抗して	吉崎 祥司 教授	20.9.28		くらしを考える講演会
揺れる子どもの心を聴く～「心の浮き輪」を育むために	庄井 良信 准教授	20.10.24	20	平成20年度教育相談セミナー
今、算数・数学教育に何が求められているか～学習指導要領の改訂を中心に	清水 静海 氏	20.11.21	150	へき地教育フォーラム in 十勝

いまだから、学校が取り組まなければならないこと	玉井 康之 教授	20.12.3	130	平成 20 年度フォーラム石狩
渡島大沼水質環境改善プロジェクト	田中 邦明 教授	20.12.8		大沼の水質改善への取組を紹介する講演会
大学におけるハラスメント防止について	吉武 清實 氏	21.1.8	130	ハラスメント防止に関する講演会
外国語活動必修化に向けて	直山 木綿子氏	21.2.14	220	北海道教育大学小学校英語プロジェクト実践交流会
平成 20 年度大学審答申を巡って	小笠原 正明 氏	21.2.6	80	FD 講演会
STOP！北海道の子どもの体力低下～健やかな成長は心と体のバランスから～	須田 康之 教授	21.3.1	230	食と農をつなぐ教育フォーラム～地域の宝は元気な子ども



国立大学法人
北海道教育大学

平成 20 年度
北海道教育大学入学式
記念講演

我々が生きている時代とは

— 学生時代に身につけるべきこと —

《日時》
平成20年4月2日(水)午後3時～

《会場》
ウェルシティ札幌 北海道厚生年金会館

講師／財団法人日本総合研究所 会長
寺島 実郎 氏

株式会社三井物産戦略研究所 所長
文部科学省中央教育審議会委員(2001年～)
国立大学法人評価委員会委員(2003年～)

【主な経歴】

1947年 北海道に生まれる	2001年 財団法人 日本総合研究所 理事長
1973年 早稲田大学大学院政治学研究所 修士課程修了 三井物産株式会社に入社	2002年 早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科教授
1987年 米国三井物産ニューヨーク本店 業務部 情報・企画担当課長	2003年 三井物産株執行役員
1991年 米国三井物産ウシントシ事務所長	2005年～ 三井物産株常務執行役員 早稲田大学 アジア太平洋研究センター客員教授
1999年 財団法人日本総合研究所 所長	



【平成20年度入学式記念講演 リーフレット】

6) 研修会

研修会の実施状況

平成18年度から20年度に本学が実施した研修会は、以下の資料2- -20, 21 および22のとおりである。

資料2- -20 平成18年度に実施した研修会			
名 称	開催日	参加人数等	備 考
特別支援教育研修会（釧路会場）【附属養護学校】	18.7.31	教員，保育園職員等特別支援教育に携わろうとする関係者約50名	平成18年度地域貢献推進プロジェクト報告
「10年経験者研修専門講座」	18.7月下旬～18.8月中旬	5日間の教科指導専門講座 95講座759名 3日間の生徒指導専門講座 22講座277名	北海道教育委員会との連携
釧路地区小学校英語活動実践交流会【釧路校】	18.9.30	小学校教員，教育委員会関係者30名	文部科学省「小学校英語活動地域サポート事業」
第7回生涯学習教育研究大会	18.12.2	教員40名	
小学校英語活動ワークショップ	19.1.12	函館市内・近郊の教員，大学生35名	文部科学省「小学校英語活動地域サポート事業」の一環
小学校英語活動実践成果発表交流会	19.2.17～19.2.18	小学校教員，中学校・高等学校・大学の教員等160名	文部科学省「小学校英語活動地域サポート事業」 共催：北海道教育委員会及び札幌市教育委員会

資料2- -21 平成19年度に実施した研修会			
名 称	開催日	参加人数等	備 考
「10年経験者研修専門講座」	19.7月下旬～19.9月上旬	5日間の教科指導専門講座 81講座643名 3日間の生徒指導専門講座 20講座234名	北海道教育委員会との連携
平成19年度理科支援員養成研修会【函館校】	19.10.22	渡島管内の小中学校に理科支援員として配置される大学院生・学部生10名	主催：北海道教育委員会（道立理科教育センター），函館校
第3回小学校英語プロジェクト・実践交流会	20.2.16～20.2.17	小学校英語に携わる現職教員等122名	文部科学省「小学校英語地域サポート事業」の後継事業
「ナノの世界を観る！～先端科学技術を学ぶ・体験する～（夏）」【函館校】	19.8.1～19.8.3	函館市内及び札幌市の中学校・高等学校の現職教員ら	教育委員会等の連携「理数系教員指導力向上研修（ティーチャーズ・サイエンスキャンプ）」 独立行政法人科学技術振興機構（JST）支援
平成19年度北海道教育大学生涯学習研究大会 シンポジウム「日本と韓国における自治体レベルの生涯学習推進と大学の役割」 「生涯学習の視点に基づいた学力に関する研究」	19.10.26	釜山大学校平生教育院長ほか	主催：生涯学習教育研究センター
「ナノの世界を観る！～先端科学技術を学ぶ・体験する～（冬）」【函館校】	20.1.10～20.1.11	函館市内や日高管内の高等学校教員3名	「理数系教員指導力向上研修（ティーチャーズ・サイエンスキャンプ）」独立行政法人科学技術振興機構（JST）支援

資料2- -22 平成20年度に実施した研修会

名 称	開催日	参加人数等	備 考
第4回小学校英語プロジェクト・実践交流会	21.2.14～ 21.2.15	現職教員220名超	文部科学省「小学校英語地域サポート事業」の後継事業
「10年経験者研修専門講座」	20.7月下旬～ 20.8月上旬 20.12月下旬	5日間の教科指導 専門講座 68講座 572名 3日間の生徒指導 専門講座 19講座 206名	北海道教育委員会との連携

研修会のアンケート結果

4件の研修会等のアンケート結果（資料2- -23）を例に分析すると、小学校英語プロジェクト・実践交流会においては満足度が90%台であり、非常に良好との評価を得、その他10年経験者研修専門講座等においても好意的な意見が多く、満足度の高いものとなっており、社会に貢献したものと判断している。

資料2- -23 研修会のアンケート結果

(1) 小学校英語プロジェクト・実践交流会

平成23年度から小学校高学年を対象とし小学校英語活動が導入されるが、現職教員の不安の解消及び課題の解決を目的とした交流会

（受講者からのアンケート調査（抜粋））

年度	募集人数	参加者数	満足度	評価（主な意見等）
19年度 (2/16.17 開催)	100	126	95%	<ul style="list-style-type: none"> このような取組を道内各地で行ってほしい。 様々な実践を見ることができた。 パネルディスカッションで現職の先生の意見を聞いて参考になった。
20年度 (2/14.15 開催)	200	224	93%	<ul style="list-style-type: none"> 春からすぐ活用できる考え方、カリキュラム作成などを知ることができた。 小学校の先生の悩みを知り、中学校の先生の手助けが必要であることが分かった。 多くの地域、観点からの発表があつてよい。 来年も続けてほしい。

(2) 10年経験者研修専門講座

現職教員の資質向上を目的として、北海道教育委員会からの委託を受け実施している。

在職期間が10年に達した教諭を対象に、少人数の専門講座を通じて、現職の教員の個々の課題を解決するとともに、大学院レベルの研修によって教科の専門性を高め、指導力の向上を図ることを目的としている。

（受講者からのアンケート調査（抜粋））

年度	講座開設数	受講者数	主な意見等
18年度 (8月, 1月)	135	1,114	<ul style="list-style-type: none"> 普段思いもつかない視点から国語に触れることができた 物事の本質に迫る内容で知的好奇心がわいた。 少人数制がよかった。 実技を織り交ぜながらの研修はよかった。
19年度 (8月, 1月)	109	929	<ul style="list-style-type: none"> 10年研の中で一番ためになった。 専門的な知識など知的好奇心をかき立てられた。 各分野からのアプローチがあつてよかった。 大学の先生方の講義をもっと聞きたかった。
20年度 (8月, 1月)	86	778	<ul style="list-style-type: none"> 楽しいゲームなど現場で実践したい。 さらに実践的内容だとよい。 不登校等の児童への対応について理解できた。 免許状更新制との関係に配慮して続けてほしい。 大学の先生とつながりができた。

- (3) 北海道雪プロジェクト（雪プロ）第5回「雪の学習」研究会
- ・北海道に暮らして、雪というテーマはすばらしい視点だと思いました。それから、教師以外の人が提案授業されている。そういうネットワークがある。雪プロで希望を感じました。（小学校教員）
 - ・公開授業・提案授業共にとても参考になりました。授業を実際に目の前で見ると児童が意外な発言をしたり、さらなる発見を通して感動を得る…（学生）
- (4) 平成19年度理科支援員養成研修会
- ・北海道の職員として任用されていることや、教育に携わるものとしての自覚を持って行動することを確認し、子どもとかわり教えることができる喜びとともに、責任の重大さを理解しました。
 - ・現場の先生方の手助けとして、観察・実験等の実施の支援や準備、後片付けなどを行い、子どもに体験的な学習を通して理科の楽しさや面白さを伝えていきたい。そして、教師となるための経験として今後に生かすことができるようしっかりと活動していきたい。

7) その他、コンサート、ワークショップなど

その他コンサート、ワークショップなどの実施状況

平成18年度から20年度に本学が実施したその他、コンサート、ワークショップ等については、以下に、資料2- -24、25および26として示した。

資料2- -24 平成18年度に実施したその他コンサート、ワークショップなど

名 称	開催日	参加人数等	備 考
岩見沢キャンパス「音楽コース オープニング記念コンサート」	18.4.24	市民800名超	岩見沢市との相互協力協定による地域連携共同事業
健康づくりサポーター養成講座 —釧路校の教員と学生が白糠町民の健康づくりをサポート—	18.6.12	白糠町民35名	釧路校教員と学生が中心となって組織・運営する「NPO法人地域健康づくり支援会ワンツースリー」
災害図上訓練（DIG）のワークショップ	18.7.15	学生96名 一般、ボーイスカウトなどの地域住民、江別市の関係職員ら約100名	授業科目「子ども・地域と防災（防犯）教育」の授業の一環
「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」事業・小学校教員対象ワークショップ「授業で使える！身近な天気情報と空気のワクワク実験」 【教育実践総合センター】	18.8.8～ 18.8.9	小学校教員20名	（独）科学技術振興機構 共催：北海道教育委員会、札幌市教育委員会
初秋のほっと音楽会（コンサート） 【岩見沢校】	18.9.18	一般市民60名	共催：財団法人北海道開拓の村
市民のためのアートのスペース「DORING（動輪）」【岩見沢校】	18.8下旬～ 18.10下旬		共催：NPO法人はまなすアート&ミュージック
「インターネット子ども教室in北海道教育大」【教育実践総合センター】	18.11.11～ 18.12.16	小学生34名	文部科学省地域子ども教室推進事業 共催：子どもメディアフォーラム運営協議会
「一日大学」【岩見沢校】 「市民風車によるクリーンな電力の推進」 「想像力豊かな伴奏表現のために—ピアノパートに秘められた音楽のドラマ」 「スタジオジブリのアニメーションについて」 「音楽とわたし（私）」	18.12.8 18.12.20 19.1.18 19.2.5	学生、教員、一般市民	杉山さかゑ(NPO法人北海道グリーンファンド理事長) 浅井智子(ピアニスト) 田中千義(スタジオジブリイベント事業プロデューサー) 前和男(札幌コンサートホールキタラ館長)
特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）学生ワークショップ「小さな学校…大きな感動—へき地教育実習での体験と学び—」	19.3.3	教員、学生約40名	文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」 「へき地・小規模校教育実践プログラムの開発—地域と未来を開く教師教育—」
地域貢献推進プロジェクト「2008ヨーロッパへの誘い」【釧路校】		一般市民450名超	釧路市、白糠町、中標津町

資料2- 25 平成19年度に実施したその他コンサート、ワークショップなど

名 称	開催日	参加人数等	備 考
安田侃さんの特別授業を市民講座と連携で開催（岩見沢校で開講している授業科目「彫刻II」の一部分として実施したものを美唄市民を対象とした教育講座として開講）	19.4.6～ 19.4.8	岩見沢校学生ら 24名 美唄市民	
第2回グリーンヒルズコンサート（岩見沢キャンパス 音楽コース）	19.5.11	出演11名 一般市民	岩見沢市と教育大学との相互協力協定による地域連携共同事業
特任教授 朝倉敏夫氏（読売新聞論説委員長）の特別講義「ジャーナリズムと社論」を開催【函館校】	19.6.6	一般市民、学生 ・教職員約200名	
岩見沢校音楽コース 夕張支援コンサート	19.6.17	市民ら約100名	
「ありがとう！仮駅舎プロジェクト」【岩見沢校】	19.6.23 ～19.6.30	学生ら約70名	壁画制作
特任教授 ヴァイオリニストの安永 徹氏、ピアニストの市野あゆみ氏の公開セミナー【岩見沢校】	19.10.5 ～19.10.6	学生、市民	
ピアニスト野呂佳生氏（本学教授）によるレクチャーコンサート（第4回おしゃべりコンサート）	19.10.12	学生、市民150名	
特任教授長倉洋海氏の特別講義「子どもの教育、戦争と平和を考える」【釧路校】	19.10.17	一般市民30名を含む約160名	
釧路校図書館リユースセール	19.11.5	一般市民 購入373名	
第3回グリーンヒルズコンサート（岩見沢校音楽コース）	19.11.9		岩見沢市と教育大学との相互協力協定による地域連携共同事業
特任教授長倉洋海氏の特別講義、「森に生きるアマゾン先住民からの伝言」【釧路校】	20.1.10	一般市民36名を含む約100名	双方向遠隔授業システム
地域貢献推進プロジェクト「2008ヨーロッパへの誘い」	20.2.10 岩見沢市 20.2.17 釧路市	一般市民350名	
特任教授長倉洋海氏の特別講義「ザビット一家、家を建てる、家族のありようを考える」【釧路校】	20.2.14	一般市民33名を含む約70名	双方向遠隔授業システム
岩見沢市民と北海道教育大学との意見交換会【岩見沢校】	20.3.9	一般市民105名	岩見沢校地域連携推進委員会

資料2- 26 平成20年度に実施したその他コンサート、ワークショップなど

名 称	開催日	参加人数等	備 考
G8北海道洞爺湖サミット開催記念特別演奏会	20.6.8	出演者300名 一般市民800名	岩見沢市
特任教授 ヴァイオリニスト、国連平和大使の五嶋みどりさんの公開レッスン	20.6.1 20.6.2	学生、一般市民 300名超	
北海道新幹線の教材化【函館校】			附属函館小学校、函館市新幹線対策室と連携
職場実習生の受け入れ	20.9.1～ 20.9.12	1名	北海道白樺高等養護学校の生徒
稲作体験塾「イ～ネエ！作る喜び、食べる幸せ」	20.11.3	学生15名	共催：JAグループ北海道 後援：北海道米販拡大委員会
特任教授長倉洋海氏の特別講義「人間交路シルクロード6万キロ」【釧路校】	20.11.11	一般市民41名を含む約100名	双方向遠隔授業システム
企画展「フレッシュ・アイズ～北海道美術再見～」	～21.1.25	企画：学生22名	北海道立近代美術館との連携事業
岩見沢市民と北海道教育大学との意見交換会パート2【岩見沢校】	21.3.8		

その他、コンサート、ワークショップなどのアンケート結果

下のアンケート結果、資料2- -27「小学校英語活動ワークショップ」は、不十分な点もあるが、好意的な意見が存在することを示している。

資料2- -27 その他、コンサート、ワークショップなどのアンケート結果「小学校英語活動ワークショップ」

- ・「子どもの視点から英語に触れてみて、楽しみながら学ぶ大切さを実感する良い機会になった。」
- ・「他の人の活動を聞き、自分との比較ができ勉強になった。」

観点に係る自己評価

社会貢献として展開している事業のうち、公開講座では、本学教員が持つ幅広い研究内容を提供するものとなっている。また、フォーラム、シンポジウム、セミナー、講演会においても、教育研究を柱として今日的なテーマを積極的に取り上げて適切な内容となっている。さらに、コンサート、ワークショップにおいても、本学が持つ各領域における実践的な能力が活用されている。

アンケート結果によれば、学校・地域教育研究支援センター開催による「公開講座」、地域連携推進室開催による「食と農をつなぐ教育フォーラム」、小学校英語プロジェクト会議開催による「小学校英語活動実践交流会」、10年経験者研修専門講座運営委員会開催による「10年経験者研修専門講座」のいずれも、おおむね良好または良好との評価を受けており、参加者の満足度は高い。また、授業公開講座の開講数も年々伸びている。それぞれの事業は、現代的課題及び地域のニーズを捉えており、社会貢献事業が実施の趣旨に即して適切に実施され、社会に貢献していると判断している。

しかし、一般公開講座、高大連携公開講座、現職教員等公開講座については、満足度に関する組織的な調査が行われておらず不明であり、高大連携公開講座、現職教員等公開講座の開講数も十分とはいえない。さらに授業公開講座については、開講したものの応募者がなく実施につながっていない例もある。

将来の改善に向けた方策として次のような取組を進める必要がある。

公開講座

実施した講座全てにおいて満足度を確認する組織的な調査を行う必要がある。また公開講座の実施に際して地域ニーズの一層の把握に努め、今後の企画に資するデータを集積する必要がある。

「食と農をつなぐ教育フォーラム」

地域住民からのニーズが高いことから、内容を充実させ継続開催していく必要がある。

「小学校英語活動実践交流会」

現職教員からのニーズがとても高く、1年に複数回開催することも検討していく必要がある。

「10年経験者研修専門講座」

平成20年度で北海道教育委員会からの委託事業としては終了する。従って、これまでの成果を把握し、今後の教員免許状更新講習に生かしていく必要がある。

資料6「平成19年度に実施した学生支援等に係る外部評価を受けての改善状況」（外部評価報告書P149-159）

平成19年度に実施した学生支援等に係る
外部評価を受けての改善状況

【外部評価委員からの指摘事項】

○新入生合宿研修は、専攻課程の理解、学生の相互啓発と連帯感の育成、教員と学生の意志疎通などに役立っている。アンケートの集計結果でも、実施が必要との意見が圧倒的に多い。今後もアンケートなどを踏まえ、学生のニーズを的確に把握し、より実践的なものにレベルアップしていく必要がある。

【改善状況】

○新入生合宿研修については、各校とも新入生の専攻の理解、学生相互の連帯感の育成、教員と学生の意志疎通などのために実施しているが、釧路校では、新入生に大学での修学目的を確認させる内容を盛り込むなど研修としての目的を明確化させている。

また、旭川校では、平成21年度から、研修内容をより充実させるために、学外における合宿形式の形態から学内での研修に変更して、学外の専門家による「薬物」「性に関する病気」「飲酒」「喫煙」など幅広い内容の講演を実施している。

各キャンパスによって実施形態が異なるため、学生のニーズや成果も異なるが、学生アンケート結果や各キャンパスにおける実施状況を共有することにより、より充実した実践的な新入生に対する研修の実施方法・内容を引き続き検討する。

【外部評価委員からの指摘事項】

○オフィスアワー、アカデミック・アドバイザー制度、学修サポートルーム、学生なんでも相談室、大学教育情報システムが、実際の学習支援の場で効果的に運用されているか定期的に検証が必要。

【改善状況】

○オフィスアワー、アカデミック・アドバイザー制度については、学生への周知につとめ、2008年度に学生に対して周知度や利用状況について、アンケートを実施して調査している。また、大学教育情報システムについては、アカデミックアドバイザーからの支援記録状況（支援実施数等）を調査する予定である。

○アンケート調査結果から、オフィスアワー、アカデミック・アドバイザーの利用率は決して高くはなかったが、利用率が低い理由は、昨年度は学習支援としてアカデミック・アドバイザーへの相談事項が無かったという回答であった。

この調査は、2009年度も継続して行う予定である。また、今後、それらの検証結果を踏まえて、アカデミック・アドバイザーを中心にこれらを一体的・効果的に運用して学習支援を行うシステムを充実する方策を策定し、実施する予定である。

○なんでも相談室の周知度について、卒業生アンケートで調査したが、平成18年度から学生生活実態調査においても調査し、周知度のほか相談体制についても調査し、なんでも相談室が効果的に運用されるように環境向上に努めている。各校のなんでも相談室の利用件数（相談事由別）を、平成18年度以降毎年度調査している。

【外部評価委員からの指摘事項】

○大学でも最も大事な授業・教育への満足度や充実度の調査で、「将来に役立つ魅力のある講義が少ない」の意見が半数以上を占めたが、カリキュラム見直しなど十分に検討し、授業内容の充実を図っていかねばならない。

【改善状況】

○平成 20 年度に「大学教育開発センター」を設置し、同センターの「カリキュラム改善・点検部門」を中心に、カリキュラムの点検を開始した。平成 21 年度には、「学士力プロジェクト」の「カリキュラム開発チーム」（カリキュラム開発・改善部門を中核とする）を中心に、人材養成の目的に相応しいカリキュラム・授業内容に変えていく作業を本格的に開始している。

また、平成 19 年度から授業改善のための活動（狭い意味での FD）を全学的体制で開始した。平成 20 年度からは「大学教育開発センター」の「授業改善部門」で、平成 21 年度には「カリキュラム開発チーム」を中心に、授業改善のための FD 活動に取り組んでおり、「FD 活動全学合同会議」を開催している。

さらに、平成 20 年度卒業生に対するアンケート集計結果によれば、教養教育に対する満足度は、「満足」+「ほぼ満足」が 57%、「どちらともいえない」が 29%、「不満」+「やや不満」13%であり、専門教育に対する満足度は、「満足」+「ほぼ満足」が 73%、「どちらともいえない」が 19%、「不満」+「やや不満」7%であった。これらから、相応の満足度が得られていると考えられる。

【外部評価委員からの指摘事項】

○学生が利用できるパソコンの保有台数の増加、機器の更新、情報関連環境の課題などについては、予算の問題があるが、中・長期的な展望に立ち計画的に進める必要がある。

【改善状況】

本学では、各キャンパスに 30～100 台、総計およそ 330 台の教育用パーソナルコンピュータを配備している。他に、データ検索のために附属図書館および分館に 8 台～15 台、計 50 数台の情報端末を配備している。さらに、共用スペースに学生の使用のためのコンピュータを配備している。これらのコンピュータに対して、月 1 回セキュリティーアップデートを実施し、セキュリティーを高めている。

これらの共用のコンピュータについては、これまで総合情報基盤管理室と教育改革室が連携しながら、更新を行ってきた。今後も両室が連携を取りながら、更新計画を策定し、順次更新していく予定である。

近年では、多くの学生がノート型コンピュータを所持するようになってきている。これらの資源をも有効に利用・活用できるように、大学内にアクセスポイントを設備して来ている。学生によるアクセスポイントの利用が増加するならば、総合情報基盤管理室と教育改革室が連携しながら、アクセスポイントの拡大を図る予定である。

なお、平成 20 年度に学生のパソコン必携化に向けた WG を設置して検討を行ったが、教員対象アンケートの回収率が低く、WG の答申についても、パソコンを使用する授業科目が少ない、有線 LAN 設備ではコストが高いなど理由により、引き続き、平成 21 年度にアンケートの再実施とコストが低い無線 LAN の導入を検討することとしている。

【外部評価委員からの指摘事項】

- 学生の相談・助言体制について、専門家による精神的な悩みの解決とセクハラなど人権に関する対策が特に重要になる（ホームページの拡充、及び利用しやすい雰囲気・環境づくりは大切である）。
- 「学生なんでも相談室」が設置され、さらなる迅速で的確な対応が期待される。学生生活実態調査の回収率向上も必要。
- 今後とも、「学生なんでも相談室」などを通して日常におけるニーズの把握と敏速な対応が期待される。

【改善状況】

- なんでも相談室について、周知を図るために全学のホームページ及び学生便覧に掲載していたが、平成20年度には、更に周知を図るため各キャンパスのホームページにも掲載するようにした。また、学生生活実態調査において、なんでも相談室の周知度及び相談体制を調査しており、平成18年度実施時には調査対象学生を全体の3分の1としていたが、平成21年度実施分から全学生を対象として大学教育情報システムを利用して実施することとし、回答数及び回答率の向上を図るとともに、同調査における自由記述で学生のニーズを把握するように努めている。
- 各キャンパス独自の状況として、旭川校においては、相談室の環境を整備し相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、旭川校独自にハラスメントに関するアンケート調査（平成21年6月）を行い、学生のニーズ把握に努めた。
- また、釧路校においては、学習支援及びキャリア支援に係る相談の窓口を「学生総合相談室」として設置し、相談しやすい環境づくりに努めているとともに、進路相談と心理相談の連携を強化した。なお、同相談室の愛称を学生から公募し、「ask」（アスク a 安心 s 相談 k 解決または a 安心 して s 相談 できる k 教室 から）と決定するなど、より親しみやすい場所を目指している

【外部評価委員からの指摘事項】

- 引き続き、新入生へのガイダンスなどの内容の充実を図るための事業評価を行うなどして、改善を図ることが大切である。

【改善状況】

- 新入生ガイダンスについては、各キャンパスとも入学式直後に2～3日間を設定して、大学生活全般、修学支援、学生支援関係を中心として実施しており、札幌校では、学生支援として現在の社会問題である「薬物乱用防止」、「ごみ有料化」についての情報提供も行っている。
- また、釧路校では、導入教育検討WGを組織し、導入教育の一環とし、入学式直後に短期間で行ってきたガイダンスを、6日間に分け基礎ガイダンス、履修ガイダンス、専攻別ガイダンス、学生支援ガイダンス、大学生活の基礎知識、キャリア導入ガイダンスに分割し実施し、モチベーションの向上に努めている。
- 事業評価については、1年次終了時に、新入生に対する修学支援や学生支援などに関する学生アンケートの実施等について検討する予定である。

【外部評価委員からの指摘事項】

○特別な支援を行うことが必要と考えられる学生に対して、サークルなどグループ別の自主的な学習活動の充実を図るとともに、その成果の発表の場を設定するなどして、努力を認め、意欲を喚起する取組が大切であると感じている。

【改善状況】

○現在、特別な支援を要する学生が在学していないため、特に対応は検討していない。

今後、該当する学生が入学した場合は、加入を希望するサークル等と調整の上、当該学生がサークルで活動するために特別に必要な支援があれば検討したい。

なお、過去に入学した聴覚障害者に対する支援については、当該学生や支援に関わった教職員・学生などの感想なども含めた対応を報告書として作成して、関係者に配付している。

【外部評価委員からの指摘事項】

○学生のサークル活動などが効果的に進められるよう教官などの側面からの適切な支援・助言が大切である。

【改善状況】

○学生のサークル活動に対する教員の指導・助言体制は全学的には確立されていないが、各校とも必要に応じて顧問教員が適宜指導・助言を行っている実状にある。

なお、各キャンパス独自の措置として、札幌校では平成 21 年度に学生団体の役職学生を対象にリーダー研修会を実施し、教員による効果的な指導を行った。

また、釧路校では、平成 20 年度から学生支援委員会が主体となり、各研究室の代表者（研究室長）による「室長会議」及びクラブ・サークルの代表者による「クラブ・サークル代表者会議」を発足させ、定期的に会議を開催し、大学側（学生支援委員会）から、それぞれの会議に対して指導・助言を与えたり、各研究室やクラブ・サークルが大学側に対する意見要望を述べたり、研究室やクラブ・サークル相互の連携を深める場としている。

【外部評価委員からの指摘事項】

○多様な支援が、（学生に対して）提供されており、実際に活用した支援システムの種類によって、アドバイスの中身が違って学生が戸惑ってしまったり、相談の担当者が違うと回答が異なることがあるとの話を学生がしていた。学生たちが多少戸惑いを感じる場合があったように見受けられる。

【改善状況】

○なんでも相談室については、平成 18 年度以降、全学的に特段の措置は講じていない。

なお、釧路校においては、なんでも相談も含めた学習支援及びキャリア支援に係る相談の窓口を「学生総合相談室」として設置したことにより、担当者間で回答が異なり学生が混乱しているようなケースの事後的対応をスムーズに解消している。

○学習支援では、オフィスアワー、アカデミック・アドバイザー制度を外からサポートするものとして、学修サポートルーム、学生なんでも相談室があり、学生の相談窓口としてどこでも対応できるようになっている。

アカデミック・アドバイザーに対しては、指導教員（アカデミック・アドバイザー）サポートマニュアル及びキャリア形成・就職支援マニュアルを配付して、学生に対する修学・就職支援の充実並びに指導内容の平準化を図っている。

また、休学・退学などの相談や成績不振学生に対する指導など修学支援に関する重要事項については、アカデミック・アドバイザーが教育情報システムに記録することになっている。

【外部評価委員からの指摘事項】

○学生の修学支援のために大学教育情報システムというシステムを導入していますが、このシステムについて、学生たちはパスワードの活用に不安があるという話をしていた（他人に分かりやすいパスワードが設定されている）。

【改善状況】

○導入初年度（平成 18 年度）は、学生からのパスワードに関する照会が多くなることが予想されたため、初期パスワードを学籍番号と誕生日の組合せとしていたが、初回ログイン以降は、学生からのパスワード変更が可能であり、学生に任意のパスワードに変更するよう周知している。

平成 19 年度以降は、情報セキュリティ強化のため、初期パスワードを規則性のない英数字 8 桁に変更している。

【外部評価委員からの指摘事項】

○学生によって必要な図書は様々で、それらを全て一つの図書館に備えるということは難しく、他の大学や図書館、研究機関などと協力して、利用し合える体制を一層充実していくことが大切である。

【改善状況】

○学生たちが他の図書館で所蔵している資料を利用する方法として、次の3点が用意されている。

- 1) 他キャンパス・他大学(海外も含む)の図書館で所蔵している図書を取り寄せる(相互貸借)
- 2) 他キャンパス・他大学(海外も含む)所蔵の図書・雑誌・論文のコピーを取り寄せる(文献複写)
- 3) 本学を含む北海道内の23加盟館を、学生証の提示で閲覧、複写、貸出のサービスが受けられる(道外の図書館については、紹介状によって利用可能となるところもある)

なお、これらの制度が十分に活用できるよう、種々の検索方法の用意と、その利用についてのガイダンスも行っている。

【外部評価委員からの指摘事項】

○学生生活実態調査の回収率を高めるとともに、3年に1回ではなく、調査を2年に1回または毎年実施できないものか、あまり負担にならない調査方法と報告書の作成を工夫し、学生の声(要望など)を出来るだけ多く聞くことも検討していただきたいと思います。

【改善状況】

○平成21年度実施分から、調査対象を3分の1抽出ではなく、全学生を対象にした。また、回答方法を、紙媒体から大学教育情報システムでのWeb入力に変更し、以前より多くの学生の声(要望等)を把握するようになった。また、大学教育情報システムの利点を生かし、回答率が低調な場合は、個人を特定して督促することも検討している。

なお、調査年については、大学教育情報システムを利用した平成21年度の実施結果等を検証し、今後検討していく予定としている。

【外部評価委員からの指摘事項】

○学生生活実態調査報告書によると、「朝食をほとんど食べない」学部学生が24%、院生は27%もいることが分かりました。このような学生への生活(健康)相談・指導はどのようにされているのでしょうか。大学の主たる指導業務ではないのかも知れませんが、何らかの方法で食事の重要性について呼び掛けたいものです。各組織のそれぞれの役割についての確認・点検も必要でないかと思えます。

【改善状況】

○平成18年度以降、特段の措置を講じていない。

なお、食事を含む健康関係で、個別に相談があった場合は、保健管理センター各分室で対応できる状態になっている。

【外部評価委員からの指摘事項】

○教育系大学ということで、就職援助などに関する重要な支援の一つに教員採用試験対策がありますが、少しでも合格率を高めるため、学生の意識の高揚、指導内容・指導方法の工夫などをより一層期待したいと思います（OBにも講師として指導していただいているようですが、時には就職予備校の講師にも来てもらい学生に刺激を与えることも一案かと思えます。また、他大学、例えば就職指導で成果をあげている私立大学などへの視察も一策かと思えます。）。

【改善状況】

- （教員採用対策）北海道教育委員会教育長をはじめ、本学同窓会、予備校等の協力による各種セミナー、本学就職対策委員会、本学同窓会の協力による面談等の個別指導、予備校等の協力による教員採用対策講義（正規授業）及び有料特別講座等を実施する。
- （公務員対策）人事院北海道、札幌市人事委員会の協力による説明会、予備校との協力による公務員対策講義（正規授業）及び有料特別講座等を実施する。
- （民間就職対策）企業等の協力による学内合同企業説明会、業界研究セミナー、就職情報会社等の協力による就職支援講義（正規授業）及び各種セミナー等を開催し、幅広く学生への支援に取り組んでいる。